

參考資料

第7次幸田町総合計画土地利用構想案及び基本計画案について

企画部企画政策課

1 各団体意見交換会

(1) 期間 令和7年5月19日から

(2) 会議名

番号	会議名	番号	会議名
1	坂崎・幸田学区区長との総合計画意見交換会	18	大草区要望会
2	デジタル懇話会	19	高力区要望会
3	民生児童委員役員	20	六栗区要望会
4	定例校長会議	21	文化財保護委員会
5	交通指導員打合せ	22	上六栗区要望会
6	こうた凧揚げまつり実行委員会	23	豊坂・深溝学区区長との総合計画意見交換会
7	荻区要望会	24	総合教育会議
8	K I A定例打合せ	25	桜坂区要望会
9	私立幼稚園PTA懇談会	26	幸田区要望会
10	土地改良理事役員会	27	産業まつり実行委員会
11	幸田深溝里土地区画整理組合清算人会役員会	28	ハート集会（こうた健康引受人ハート会定例会）
12	中央・荻谷学区区長との総合計画意見交換会	29	こうた夏まつり実行委員会
13	長嶺区要望会	30	幸田町農業委員会
14	J Aあいち三河	31	幸田町消防団役員会
15	坂崎区要望会	32	環境審議会
16	久保田区要望会	33	幸田町子ども会連絡協議会役員会
17	須美区要望会		

(3) 主な意見

項目	主な意見
暮らしやすいまち (安全・安心・快適)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転免許返納者への交通手段の提供 ・ えこたんバス、チョイソコ、スクールバスの利便性向上 ・ 企業誘致や住宅地整備 ・ 空き家の有効活用 ・ 若年層が定住しやすい環境づくり ・ 遊水地整備 ・ 相見駅へ派出所の設置 ・ 防災倉庫の不足 ・ 消防団員の確保 ・ 墓地・永代供養 ・ 避難所運営や一人暮らし高齢者の安否確認体制の強化
みどり豊かなまち (自然環境)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山の活用 ・ 自然を生かした産業又は観光

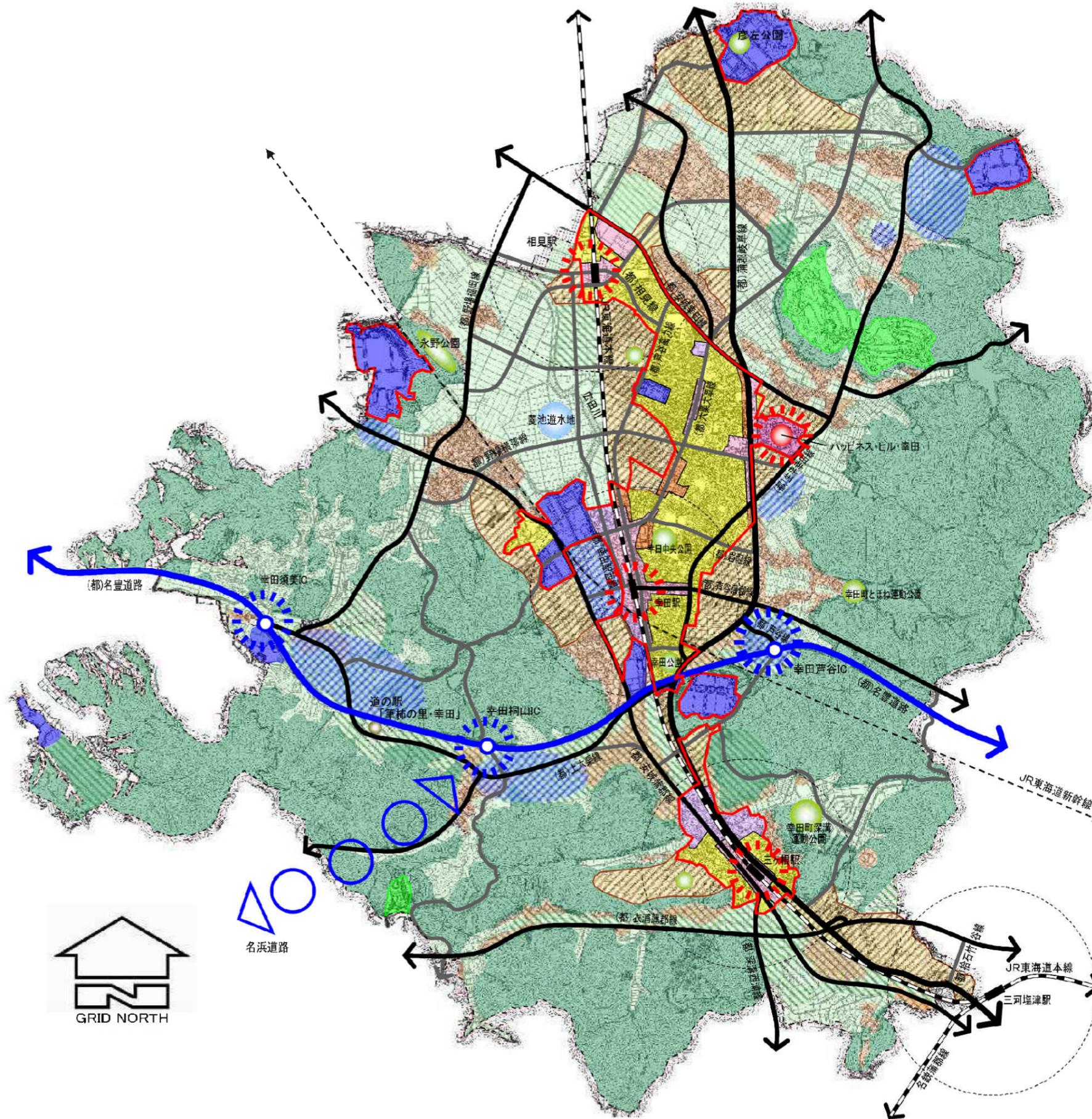
<p>活力とにぎわいのある まち（産業）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい作物を取り入れた農業振興 ・サラリーマン退職者の農業移行支援 ・道の駅を特産物や加工品制作の拠点として拡充 ・不要な農業機械のリースや貸し出し制度 ・耕作放棄地の有効活用 ・農業施設の老朽化 ・後継者不足 ・聞入寺跡地利用
<p>健やかに暮らせるまち （健康・福祉）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・老人保健施設が必要
<p>誰もが学べるまち （教育・文化）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・坂崎学区の多世代交流施設建設計画 ・外国籍児童への対応 ・子育て支援、保育園整備、退園時の問題解決 ・地域文化振興策の強化（運営者の育成、地域案内人の確保） ・子どもたちへのD X教育
<p>みんなで支えるまち （協働・参画）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性や高齢者の地域活動参加機会の拡大 ・組合費や草刈りの負担軽減 ・外国人のゴミ出しマナー
<p>持続可能な行財政運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・D Xを公共交通、福祉、農業、住民管理などに活用 ・学生や退職者がデジタル技術を学び地域活性化に寄与 ・財源不足の懸念、公共料金の値上げ回避 ・ふるさと納税を活用した資金調達 ・地域の持続可能性を考慮

令和7年度第1回幸田町総合計画審議会でのご意見への対応（取組分野別）

ご意見	対応
「まちづくりの将来像」について	
「まちづくりの将来像」に「産業」を連想させる言葉を追加してほしい。案「未来につなぐ活力ある緑住文化都市」	ご意見のとおり、「未来につなぐ活力ある緑住文化都市」を「まちづくりの将来像」としました。
「人口目標」について	
人口目標に向けた取組についての記述が散在していて、全体として幸田町としてどのように取り組んでいくのかをもっとまとめて記述してほしい。	人口目標の達成のため、全分野で横断的に取り組む「まちづくりの重点方針」の記述により幸田町全体の取り組みをまとめることとしました。
「1-1-2 河川・ため池・山の整備」について	
「補助金の採択」と記載されているが、「補助事業の採択」としてほしい。	ご指摘のとおり修正させていただきます。
水に親しみ水辺空間の整備の必要が記載されているが、まずはモデル的な事業として整備を進めてほしい。	「取組分野 2-1-1 自然環境の保全・再生」の「主な取り組み」において「自然とのふれあいの場の整備」を記載しました。
広田川の堤防を散策路とするような構想もあったが実現されないままとなっている。計画したことがどうなったかが分かるよう公表してほしい。	具体的な計画の管理については各所管課で行っています。今回の総合計画からは目標指標を設定することで各取組分野ごとに進捗管理を行う予定です。
「1-2-2 公共交通の整備」について	
幸田駅の改修が必要である。	「地区別土地利用構想」及び「取組分野 1-2-1 公共交通の整備」に幸田駅の整備について記載しました。
土地利用構想図でも駅整備の重要性を示してほしい。	土地利用構想に、町内 JR 3 駅を都市拠点として位置づけしました。
公共交通に関する目指す姿に「あらゆる人に移動手段を提供し、外出を促す」といった表現を加えてほしい。	「取組分野 1-2-2 公共交通の整備」について、「誰もが移動しやすい」「外出促進」の文言を記載しました。

「2-1-1 自然環境の保全」について	
自然環境の「保全」は言葉として弱い。自然の破壊や荒廃を防ぐような強い言葉としてほしい。	「取組分野 2-1-1」について「自然環境の保全・再生」、「多様な生態系の保全・再生を進めます」とさせていただきます。
「2-2-1 ごみ問題への対応」について	
ごみ不法投棄について町として対策を進めてほしい。	「取組分野 2-2-1 ごみ問題への対応」の現状と課題に「ごみ不法投棄」についての記述を追加しました。
「3-1-3 工業振興・企業立地・新産業創出」について	
地元就職を進めてほしい。	「取組分野 3-1-3 工業振興・企業立地・新産業創出」の現状と課題に「地元就職」についての記述を追加しました。
工場を誘致するだけでなく、工場働く人に町内に住んでもらうことも重要	「まちづくりの重点方針」の説明文に、働く場所の確保、住宅地の供給、町の魅力発信の記載を追加しました。
「4-3 誰もが笑顔で過ごせる社会をつくる」について	
「4-3 誰もが笑顔で過ごせる社会をつくる」には障がい福祉と高齢者福祉に加えて、地域福祉の分野も含まれると思われます。	「取組分野 4-3-1」を「地域福祉・高齢者福祉の充実」に変更するとともに、「取組分野 4-3-2 障がい者福祉の充実」と順番を入れ替えました。
「6-2-1 地域活動・多世代交流の推進」について	
地域コミュニティの育成、強化について、総合計画の中で施策体系の中でもっと上の方で扱ってほしい。	施策体系の取組分野はすべて並列ですが、「取組分野 6-2-1 地域活動・多世代交流の推進」に地域コミュニティについての記載をさせていただきました。
「持続可能な行財政運営」について	
町外へのアピールだけでなく、町民の生活向上に予算を使ってほしい。	「取組分野 効率的で健全な行財政」に「事業の選択と集中を行い、限られた財源で町民のニーズに応える財政運営を展開します」と記載させていただきました。

■土地利用計画図



凡 例	
	住宅地区
	沿道等サービス地区
	商業地区
	健康文化交流地区
	住工共存地区
	工業地区
	レクリエーション地区
	一体的市街地誘導地区（住宅地区等）
	拡大工業地区
	集落地等
	緑農・都市共生地区
	農地保全地区
	森林保全地区
	都市拠点
	インターチェンジ拠点
	自動車専用道路等
	自動車専用道路等（新規計画）
	幹線交通軸
	拠点連携軸
	JR東海道本線・名鉄蒲郡線
	JR東海道新幹線
	地区公園、近隣公園
	駅勢圏（半径1km）
	現行市街化区域

※総合公園の配置は、今後検討します。

